

2022年度事業報告

公益財団法人 第11期

(2022年4月1日～2023年3月31日)

- ・ 事業概要
- ・ 事業報告
- ・ 評議員会、理事会、事務局等

公益目的事業1 地域振興支援事業

地方創生が大きく謳われる中、地方都市の中心市街地の空洞化やますます加速する少子高齢化や人口減少といった地方の衰退が大きな問題となっている。

一方で、地域経済を支える産業界も、社会環境、経済環境が目まぐるしく変化するなか、国内消費の頭打ちのなかで、新たな製品開発やサービスを模索している。また人材獲得や人材育成に問題を抱えている。

このような地域企業を取り巻く厳しい変化にも柔軟に対応できる企業の人材育成や企業の経営革新を進めることがますます重要な要件となっている。さらに、地域振興のカギを握るものは、地域の次世代を担う人材育成も重要な要件である。

そこで当財団では、産学官連携の仕組みを活用して、以下の3つの事業を行う。

「1 地域産業人材育成」：自らの考えで行動できる企業経営者、管理者、社員を育成し、地域企業の経営強化を支える人材育成の支援を行い、企業の経営革新を図る。

「2 インキュベーション支援」：地域産業の強化を目的として、新たな創業を活発化し、また、既存企業の経営強化の支援を行う。これを促進するために、新たな卵から羽化させ、ヒナへと育てる為の仕組み（インキュベーション）を進めて、新規事業を創出させ、地域振興を図る。

「3 地域連携促進支援」：地域の様々な課題解決に向け、地域の次世代人材育成を行うことで地域の活性化を図る。

これらの諸事業を地域振興支援事業としてまとめ、地域振興を通じ、地域活性化を図る。また、この活動についての成果については、ホームページなどにより、企業や地域住民に広く公表する。

1 地域産業人材育成

近年、企業を取り巻く、社会環境、経済環境が目まぐるしく動くなか、企業の経営者、管理者は企業存続のための基本的戦略を立て、企業運営をしていかなければならないとともに、厳しい変化にも柔軟に対応できる社員を育てあげていくことがますます重要となっている。

経営者は厳しい変化にも柔軟に対応できる経営方法や、より業績の拡大を図るためのマネジメントなど、より高次の能力を身に付けることがますます重要となっている。

また、中堅社員は、環境変化が激しい中で、企業のコア人材としても大きな期待を持たれており、部下の指導・育成やリーダーシップを身に付けることはもちろんのこと、さらには、成果主義や能力主義、目標管理の導入など社員のやる気を最大限に奮起させ、会社目標を達成するための評価制度の導入や自社のムダを見つけ生産現場からの改善を進める現場改善手法など、専門的な知識の習得も必要とされている。

しかし、企業単独での人材育成にも限界があり、さらに公的機関等が人材育成を行う機会は埼玉県南部と比較し、北部地域では非常に少なく、また、時間と費用、人材を割いて県南部の研修へ派遣することも難しく、県内での地域格差があるのが現状である。

当財団は、当事業を実施することで企業を取り巻く経営環境が激変する中、環境変化をチャンスと捉え、先を見据え、自らの考えで行動できる企業経営者、管理者、社員を育成し、地域企業の発展に寄与することを目的とする。

今年度の活動内容は下記の通りです。

(1) 企業経営者・管理者研修

管理監督者を対象とした研修会を開催した。

日 程	内容・講師	受講者数
7月6日(水) 7日(木)	新任管理監督者研修 (有) ミッション 代表取締役 田中 久男 氏	19名

(2) 中堅社員・専門研修

中堅社員及び実務担当者を対象とした研修会を開催した。(全3講座、延べ49名)

日 程	内容・講師	受講者数
7月27日(水)	中堅女性リーダー育成研修 (株)キャラウィット 代表取締役 上岡 実弥子 氏	23名
9月8日(木)	営業クロージングトーク術研修 Accept 代表 赤嶺 哲也 氏	17名
10月5日(水)	クレーム対応研修 (株)キャラウィット 代表取締役 上岡 実弥子 氏	9名



2 インキュベーション支援

早稲田大学リサーチイノベーションセンターや本庄市をはじめとした自治体、本庄商工会議所などの商工団体、日本政策金融公庫や埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫など金融機関と協働し、地域の創業支援計画をもとに、創業スクールやシェアードオフィスの提供、創業者の交流会を実施し、新たな産業創出を促進する。

さらに、既存企業の新製品等の開発、技術開発を支援し、地域企業の経営革新を進め、産業振興を図る。

(1) 創業スクールの実施

本庄地域の創業支援計画をもとに、早稲田大学リサーチイノベーションセンターの中小企業診断士や弁護士、本庄商工会議所などの商工団体、日本政策金融公庫や埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫などの金融機関を講師として、創業スクールを年間数回実施する。

今年度の活動内容は下記の通りです。

1) 「本庄早稲田塾 ゼロからの創業へのステップ」(創業機運醸成事業)

本庄市の創業支援等事業計画(創業機運醸成事業)をもとに、早稲田大学リサーチイノベーションセンターの中小企業診断士、創業・ベンチャー支援センター埼玉、本庄市、創業スクールの修了生を講師として、無料の創業セミナーをビデオオンデマンドで実施した。

配信期間：5月10日(火)～5月31日(火)まで

対象者：創業に興味がある方、創業をお考えの方

受講者数：45名(男性20名、女性25名)



2) 「本庄早稲田塾 ゼロから始める創業スクール」(特定創業支援等事業)

本庄市・児玉郡の創業支援等事業計画(特定創業支援等事業)をもとに、早稲田大学リサーチイノベーションセンターの中小企業診断士、税理士、日本政策金融公庫、創業スクール修了生を講師として、創業スクールを4日間実施した。

開催日：6月4日～7月2日(6月25日を除く土曜日)

開催場所：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

対象者：創業希望者、創業5年未満の方

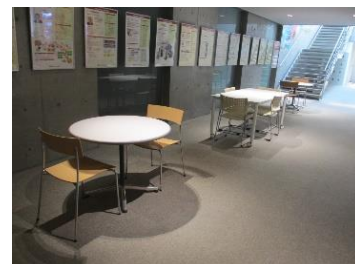
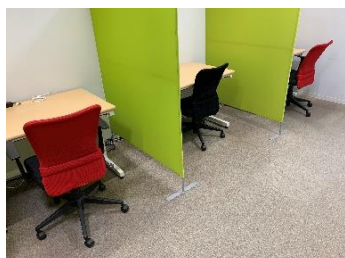
受講者数：14名(男性7名、女性7名)



(2) 本庄早稲田ビジネスプラットフォーム

資金力のない創業者や創業段階でのスタートアップに対してシェアードオフィスの提供や経営相談や創業者間での情報交換・交流などを通じて、創業支援を行う。

会 員 数 : 25 社 (者) *2023 年 3 月 31 日 現 在



(3) 交流会・セミナー

創業スクールの受講生および卒業生に対して、創業に役立つセミナーを実施し、併せて情報交換等の交流会を開催する。

今年度の活動内容は下記の通りです。

創業スクール修了生を対象に本庄市、美里町、埼玉県、本庄商工会議所、上里町商工会、創業スクール講師、地元金融機関等との交流会を開催した。

開 催 日 : 7 月 2 日 (土)

開催場所 : 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

参 加 者 : 32 名

2015～2022 年度修了生、本庄市、美里町、埼玉県、本庄商工会議所、上里町商工会、創業スクール講師、埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、埼玉信用組合、当財団等



(4) 地域企業支援

これまで行ってきた「本庄早稲田オープンイノベーションネットワーク」の活動成果を継承、活用し、地域企業の産業競争力を強化、経営革新を進めるため、企業の製品開発や技術開発の要望に対して、早稲田大学をはじめとした研究機関や自治体関係機関と協力し支援を行う。また、一方で埼玉県北部地域の商工団体や工業会「児玉工業団地」、熊谷市「ものづくり熊谷」、秩父市地場産センター「ファインド秩父」などのネットワークと連携し、地域産業の振興を図る。また、地域企業に対して、国の補助金等の情報発信やセミナー等を行う。

今年度の活動内容は下記の通りです。

1) 公的外部資金の活用

- ①早稲田大学 本庄プロジェクト推進室 本庄キャンパスワークショップ運営業務（委託）
本庄キャンパスワークショップの運営業務（運営管理、申込管理、広報活動）を受託した。

開催日：12月21日（水）

参加者：本庄キャンパス関係者26名（10団体）

講師：組織開発推進室 ファシリテーター 内田龍之介氏

内容：本庄キャンパス関係者向け交流会をワークショップ形式で開催した

委託料：192,621円



2) 企業支援件数

総支援件数：116件（支援企業：58社）

（主な内訳）

・補助金獲得支援：5件

令和元年度補正・令和3年度補正	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	1件
令和二年度第三次補正・令和三年度補正	事業再構築補助金	1件
令和5年度	AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金	1件
令和4年度第2次補正予算	LPガス災害バルク等の導入補助金	1件
令和5年度予算	成長型中小企業等研究開発支援事業	1件

・マッチング支援：2件

外注先紹介 1件

特許相談 1件

3) 産学連携活動について

①本庄早稲田モビリティ共創プロジェクト活動

2021年10月1日から活動をスタートし、プロジェクト1号機となる「HOWDY USE 1.0」を完成させた。また、プロジェクトの成果であるHOWDY USE 1.0を各種イベントにおいて展示し、プロジェクト活動の広報並びに参画企業のPRを行った。

・HOWDY USE 1.0の製作



・イベント出展

イベント名	開催日	場所
BRIDGE LIFE Platform 南栗橋	5月26日(木) 5月28日(土)、5月29日(日)	BLP MINAMIKURHASHI SMART VILLA
BRIDGE LIFE FESTA	10月22日(土)、10月23日(日)	
ほんじょう産業フェスタ	11月19日(土)	本庄総合公園
2022 東武プレミアムファンフェスタ	12月4日(日)	BLP MINAMIKURHASHI SMART VILLA
彩の国ビジネスアリーナ 2023	2月8日(水)、2月9日(木)	さいたまスーパーアリーナ



※本庄早稲田モビリティ共創プロジェクト 概要

地産地活モビリティの製造サプライチェーンの構築を目指し、早稲田大学と地域企業群が連携した枠組みでモビリティ開発を推進することを目的として2021年10月1日に発足した。

参加メンバー：14社

早稲田大学、エムケー工業(株)、(株)エフテック、(株)エッチ・ケー・エス、(株)オキナヤ、(株)オプナス、カベミミデザインズ、楠原輸送(株)、(株)グローバルソフトウェア、(株)周設計、(株)ティー・エス・イー、日生工業(株)、(株)ランタ、当財団

3 地域連携促進支援

本庄市、埼玉県等の関係機関や学校、地域企業と連携し、地域の課題解決に向けた活動を支援することで地域の次世代を担う人材育成を行い、地域の活性化を図る。

(1) 環境保全活動支援

地域の小学生や保護者を対象とした環境保全活動を通じて、地域の人材育成を行う。

今年度の活動内容は下記の通りです。

1) 本庄市立藤田小学校と早稲田大学本庄高等学院との協働河川調査

本庄市立藤田小学校の総合学習の時間に生物調査を通して身近な河川環境を学ぶことを目的とした河川調査を実施した。

メンバー：5年生 10名、6年生 14名、早大本庄高等学院河川研究班 15名

講師、スタッフ等約 11名

協力：埼玉県本庄県土整備事務所、埼玉県魚類研究会、本庄市、
真下建設（株）、NPO 法人 川・まち・人プロデューサーズ、当財団

日程	内容
5月25日(水)	河川調査事前授業
6月08日(水)	河川調査(河川増水の影響で中止)
10月19日(水)	河川調査(元小山川)
10月26日(水)	河川調査事後授業



2) 里川保全活動「つり体験教室」開催

地域の小学生とその保護者が、つり体験を通して身近な環境や生物を学ぶことを目的とした生物調査・清掃活動を実施した。

開催日：10月22日(土)

場所：男堀川(カインズ本社裏)

参加者数：地域住民親子 18名 (スタッフ 21名)

共催：(株)カインズ、埼玉ひびきの農業協同組合、JR東日本本庄早稲田駅

協力：(公財)日本釣振興会埼玉県支部、埼玉県魚類研究会、埼玉県本庄県土整備事務所、早稲田の杜まちづくり活動勉強会、本庄市



3) 山西省埼玉県友好省県40周年記念事業への協力

埼玉県環境科学国際センターより依頼をうけ、日中小学校交流事業を実施した。

開催日：11月18日（金）

実施校：本庄市立藤田小学校、山西省太原市迎澤街小学校

主催：埼玉県環境科学国際センター、山西省科城エネルギー・環境創新研究院

協力：当財団

内容：オンラインによる学校紹介等



4) 早稲田大学 本庄プロジェクト推進室 こども科学教室 チリメンモンスターをさがせ！ 運営業務(委託)

早稲田大学本庄プロジェクト推進室よりこども科学教室チリメンモンスターをさがせ！運営管理業務（事業企画、運営）を受託した。

開催日：3月21日（火・祝）

場所：早稲田大学本庄高等学院

参加者数：地域小学1年生～6年生と保護者62名（早大本庄高等学院生スタッフ4名）

主催：早稲田大学本庄プロジェクト推進室

共催：早稲田大学本庄高等学院

内容：地域小学生を対象とした海洋・河川環境教育プログラム

委託料：118,140円



5) 「川のシンポジウム2023」(会場・オンライン同時開催)

本庄地域で川の調査を行っている小学生・高校生の活動発表、専門家の講義等を通して、環境保全意識の啓発を図るシンポジウムを開催した。オンラインでは、三重大学教育学部附属小学校やタイからマヒドン・ウィタヤヌソン・スクール タナパット シンタワシェワ氏の発表もあった。

開催日：3月11日(土)

場所：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターレクチャールーム1および
オンライン会場

参加者数：本庄市立藤田小学校5年生10名、三重大学教育学部附属小学校5年生5名、
早稲田大学本庄高等学院生11名、マヒドン・ウィタヤヌソン・スクール1名、
一般参加23名、講師・スタッフ10名

主催：早稲田大学本庄高等学院、本庄市立藤田小学校、当財団

後援：本庄市、本庄市教育委員会

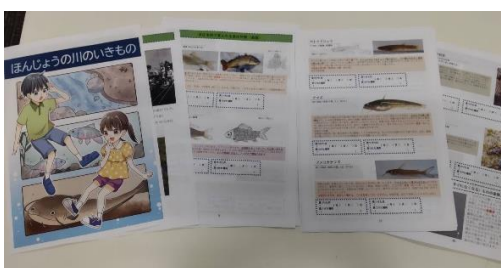


6) 小冊子「ほんじょうの川のいきもの」の発行

公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受け、藤田小学校で2006年から蓄積されている調査データに基づき、確認された種と上流に住む種、現在は採取が難しくなった種、要注意外来種などを集めた図鑑「ほんじょうの川の生きもの」を発行した。

製作：早稲田大学本庄高等学院河川研究班、本庄市立藤田小学校、
埼玉県魚類研究会代表金澤光氏

協力：当財団



(2) 国際理解促進支援

本庄市などの関係機関や、地域の小学校の要望に基づき、早稲田大学本庄高等学院などと連携し、留学生を講師として、訪問授業を行い、国際理解・異文化理解を深める。

今年度の活動内容は下記の通りです。

1) 小学生出張国際理解学習の開催（本庄市内5校 参加児童数218名）

日程	参加留学生	対象
9月7日(水)	早稲田大学政治経済学部1名（中国） 早稲田大学本庄高等学院1名（ドイツ）	本庄市立本庄西小学校 6年生：52名
9月21日(水)	早稲田大学本庄高等学院1名（モンゴル）	本庄市立共和小学校 6年生：39名
12月6日(火)	早稲田大学本庄高等学院2名（ドイツ・台湾）	本庄市立中央小学校 6年生：94名
12月14日(水)	早稲田大学本庄高等学院1名（モンゴル）	本庄市立秋平小学校 6年生：19名
1月18日(水)	早稲田大学本庄高等学院1名（モンゴル）	本庄市立藤田小学校 6年生：14名



2) 神川町 グローバルキャンプ in かみかわ運營業務（委託）

神川町より、グローバルキャンプ in かみかわ運營業務（企画調整、講義等の実施、留学生・ALT等の配置など）を受託した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により開催中止となったため契約を変更した。

当初委託料：483,705円 → 変更後委託料：271,934円

3) 早稲田大学本庄高等学院 WASEDA HONJO ENGLISH KIDS 運営業務 (委託)

早稲田大学本庄高等学院 WASEDA HONJO ENGLISH KIDS 運営業務を受託した。

開催日：10月15日(土)・10月16日(日)

場所：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター他

参加者数：早稲田大学本庄高等学院留学生3名、早稲田大学本庄高等学院生7名、
地域小学4年生～6年生児童15名

主催：早稲田大学本庄高等学院

共催：早稲田大学本庄プロジェクト推進室

内容：早稲田大学本庄高等学院留学生と学院生の交流機会の創出および地域小学生を対象に
グローバル人材への成長を促すための国際交流と語学教育プログラムの実施

委託料：269,184円



4 評議員会、理事会、事務局等

(1) 評議員会

2022年度第1回定時評議員会：6月22日（水）（みなし決議）

2022年度第2回定時評議員会：11月24日（木）（みなし決議）

(2) 理事会

2022年度第1回理事会：5月30日（月）

2022年度第2回理事会：6月22日（水）（みなし決議）

2022年度第3回理事会：11月15日（火）（みなし決議）

2022年度第4回理事会：3月22日（水）

(3) 役員、評議員の変更

○評議員退任

6月22日付

齊藤豊 堀口幸生 豊田貴志

○評議員就任

6月22日付

荏原美恵 田中健 坪本和馬

○理事退任（任期満了）

6月22日付

吉田信解 目良聡 今井和也 堀籠秀直

大石克紀 廣澤健一 藤野国雄 齋藤邦裕

○理事就任

6月22日付

吉田信解 野尻一敏 山下部勝 菊地耕太郎

大石克紀 廣澤健一 藤野国雄 小林徹

○監事退任

11月24日付

森久保晶彦

○監事就任

11月24日付

高木淳

(4) 事務局

2022年3月31日現在		2023年3月31日現在	
駐在職員	1名	駐在職員	1名
正職員	4名	正職員	4名
嘱託職員	0名	嘱託職員	0名
パート職員	1名	パート職員	1名
合計	6名	合計	6名